

建築学会東海支部 まちづくり講演会

2015年9月26日(土) 14:00～16:00

第一部 14:00～15:00 講演：講師 松原永季氏、真野洋介先生

第二部 15:00～16:00 講師を含めたグループ討議(ワールドカフェ方式)

なお、9月15日(火)～9月27日(日)は、まちづくり広場・東海2015

市民活動団体、行政、大学研究室等による建築・都市に関わる活動事例のパネル展示を行っており、26日13:00～14:00は展示団体による活動報告(NPO法人生涯学習ネットワーク中部、一般財団法人まちの縁側クニハウス、NPO法人揚輝荘の会、守山リス研究会)と表彰式があります

松原永季氏(スタジオ・カタリスト代表取締役)

講演タイトル：「路地・空き地・空き家再生のまちづくり

～神戸市・駒ヶ林地区の事例から～

講演概要：神戸市長田区南部に位置する駒ヶ林地区は、阪神・淡路大震災でも壊滅的な被害からは免れ、古くから続く漁村集落の特徴を残した路地のまちです。そして神戸市でも高齢化や人口減少、産業の空洞化の特に進んだ、課題の大きな木造密集市街地としても位置づけられています。この駒ヶ林地区で、まちづくり協議会・神戸市・専門家が一体となって進めてきた、路地・空き地・空き家の再生を図る現在進行形の試み(近隣住環境計画・まちなか防災空地・空き縁ネット)をご紹介します、密集市街地再生のあり方について、共に学ぶ場といたく考えております。

講師略歴

1990年 京都大学工学部建築学科 卒業

1992年 東京大学大学院工学研究科建築系 修了

同年 株式会社 いるか設計集団 入社

2000年 studio CATALYST 開設

2001年 株式会社 いるか設計集団 退社

2005年 有限会社スタジオ・カタリスト 設立

現在に至る



主な社会活動：NPO法人神戸まちづくり研究所副理事長、兵庫県景観アドバイザー

主な著作：阪神・淡路大震災 震災復興が教えるまちづくりの将来(学芸出版社)1998年

真野洋介先生（東京工業大学准教授）

講演タイトル：「もうひとつのまちづくりとフィールドデザイン」

講演概要：時間とともに積み重ねられてきた市街地では「住民参加」や「地域協働」のまちづくりを超えた「もうひとつのまちづくり」を考え、試行する時機を迎えています。

地域の持続可能性やプロジェクト・事業の組み立てなど、フィールドデザインを行う鍵となる部分について、広島県尾道市における空き家再生や宮城県石巻市の震災復興など、具体的な実践を通じて考えます。



講師略歴

- 1995年 早稲田大学理工学部建築学科卒業。
- 2000年 早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了
- 2000年 早稲田大学理工学総合研究センター客員講師
- 2001年 東京理科大学理工学部建築学科助手
- 2003年 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻准教授、博士(工学)。

主な社会活動：NPO 法人向島学会 理事、

(一社) ISHINOMAKI 2.0 理事（フリーペーパー石巻 VOICE 編集）

主な著作：「同潤会アパートメントとその時代」（鹿島出版会）1998年

復興まちづくりの時代—震災から誕生した次世代戦略（建築資料研究社）2006年

路地からのまちづくり（学芸出版社）2006年

復興まちづくり（丸善）2009年

まちづくり市民事業（学芸出版社）2011年

都市はなぜ魂を失ったか—ジェイコブズ後のニューヨーク論（講談社）2013年（翻訳）

会場：名古屋都市センター11階ホール（中区金山町1-1-1 金山南ビル）

主催：日本建築学会東海支部

共催：名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

参加方法

9月24日までに、✉ machisemi@nui.or.jp宛

氏名、所属、連絡先を明記

※席に空きがあれば当日参加も可能です

